

水と緑

 前橋商工会議所青年部 緑水会 Macabashi Young Entrepreneurs Group Report

Change

50

新旧代表対談

変革と挑戦





新旧代表幹事対談

Osamu Maeda

前田 修 21年度代表幹事

Change

「**変革と挑戦**」

Hiroaki Tajima

田島宏明 20年度代表幹事

前回49号での新旧代表幹事対談では、30周年という節目を軸に

今後の緑水会の向かうべき方針を大局的に示すことができました。

またウェブサイトリニューアルによって、20年度田島代表の提唱する「熱き語らい」が芽吹き、

今まで「伝統」ということで見過ごされてきた事への問題提起、議論が始まりました。

今回50号ではこの流れを継ぎ、緑水会のこれまでの歩みを見つめなおし、

さらに新たな挑戦に向けて、田島20年度と前田21年度の両代表幹事に熱く語っていただきました。

1 室5委員会制について

有できる機会を作つて頂きたい。

司会 昨年はそれまで15年間続いてきた委員会制度を改定しましたが、1年経った今、あらためてその改定の意義をお伺いします。

田島 その最大の目的は「熱き語らいの場」を作る」と。そのためには各委員会が本来の使命に専念できる「パクトな組織が必要だったわけです。

前田 まず従来の総務広報委員会、この仕事量にボリュームがあり過ぎました。本来総務と広報の仕事を一緒にやるのは難しいでしょ。

司会 そうですね、とくに広報の分野はこれまでほとんど手付かずでした。

田島 総務広報に限らず各委員会の特色をもつと發揮させるよう、委員会規定も見直し、同時に委員会名称もリニューアルしました。

前田 それぞれの委員会が追求すべき命題がこれまでつきりしましたね。

田島 他の雑音に囚われずに、ミッションを成功させるためメンバーが真剣に考える、それが我々のテーマ「熱き語らい」ということです。

司会 それではこの21年度の1年間、1室5委員会に期待される」とをお伺いします。

前田 会員委員会は新しい仲間が最初に入る委員会ですね。ここで緑水会に入る意味、異業種の仲間たちと交わることによって得られる非常に大きなメリットを考えてもらいたいのです。

経営委員会では、とくにこの厳しい時代だからこそ、色々と勉強できるチャンスを作つてもらい、経営者として一步でも前に進めるような知識や経験を会員皆が共

地域委員会は、この前橋という地方都市がどうしたら活性化できるのか、前橋の名を全国に広めるにはどんな方法があるのかを研究して欲しい、我々の子どもたちが「やっぱり前橋って良いよね」と感じてもらえるような何かを考えてください。

事業委員会は、前橋行政ともっとも深く繋がっているローズクィーンと風揚げ大会の担当ですが、市制百周年から始まつたこの二つの大きなイベントをこれからどう運営すべきか、今一度原点に返つてそもそももの「」セトから見つめなおしてください。

広報委員会は、この委員会がどんな活動をしているのかという内部の情報伝達と、昨年から始めたプレスリースのような外部へのアピールと、内外両面での情報発信を他の委員会と連携しながら頑張つてください。

総務室は、ベテラン揃いのプロフェッショナル集団として、所謂総務活動に加えて、また緑水会が抱える問題への対策を考え、中長期のビジョンによる緑水会の運営が成功するための足掛かり、ベース作りをお願いします。

21年度の1室5委員会は、田島代表が1年かけて築いたコンセプトを継承する」とが第1の条件となります。

ウェブサイトリニューアルについて

司会 ウェブサイトリニューアルは1室5委員会と並んで20年度の改革の目玉となりましたが、その成果と今後の課題についてお伺いします。

前田 また各委員会内の議案検討もフォーラムで公開してもらえば、他の会員もどういう流れになつているのか分かりますし、時系列での履歴が残ることで緑水会全体のスマートな運営も期待できる事でしょうね。

司会 緑水会内部の情報伝達を優先せざるを得なかつたことが、逆に会員の意識を向上させるきっかけになつたわけですね。

田島 本來の目的は、緑水会の活動を外部へもつとPRするためでしたが、情勢の変化により優先順位を内部のコミュニケーションツールに急遽代えたわけです。

前田 結局何が問題だったかというと、会の運営について会員が知らないこと、いわゆるブラックボックスの部分が多く、逆に会員の意識を向上させるきっかけになつたわけですね。

前田 それには会議の議案書や議事録、さらには事業や出向報告等も会員自身の手で自由に会員専用のホームページ

ジ（以下会員サイト）に記録できる仕組にしました。

司会 ただ昨年度は会員サイトへの記録が任意扱いでなかなか足並みが揃いませんでしたね。

前田 それについては、事業や会議等の後、いつまでごどのような記録をアップするか、本年度はきちんと明確にしておきます。

司会 当然、パソコンに対する得手不得手もありますが？

田島 なにも委員長が全てやる必要はありません。副委員長でも委員でもやれる人がやる、そういう辺は各委員会内で考えていただければと。

前田 昨年会員サイト操作の勉強会を2回開催して、だいぶ多くの会員が慣れてきたかなと思います。専門知識も要りませんし、やってみてば案外簡単ですよ。

司会 会員サイト内のブログや書類ツールへの報告以外に、フォーラムが立ち上がつた効果も大きかつたですね。

田島 まだ全員参加には至つていませんが、様々な問題について活発な生の意見が飛び交い、熱き語らいの主翼を担いつつあります。

前田 また各委員会内の議案検討もフォーラムで公開してもらえば、他の会員もどういう流れになつているのか分かりますし、時系列での履歴が残ることで緑水会全体のスマートな運営も期待できる事でしょうね。

司会 緑水会内部の情報伝達を優先せざるを得なかつたことが、逆に会員の意識を向上させるきっかけになつたわけですね。

田島 本來の目的は、緑水会の活動を外部へもつとPRするためでしたが、情勢の変化により優先順位を内部のコミュニケーションツールに急遽代えたわけです。

前田 結局何が問題だったかというと、会の運営について会員が知らないこと、いわゆるブラックボックスの部分が多く、逆に会員の意識を向上させるきっかけになつたわけですね。



会員の皆さん本当に熱く語らい、一生懸命頑張ってくれたことを
20年度の代表幹事として誇りに思っています。

田島 宏明

田島 事業をやるにしても、企画立案から予算立て、担当割り、そして実施してからの報告と、一連の流れをきちんと把握し記録する、そのためのツールとしてウェブサイトがもっとも適していると思います。

前田 そういう手順を明確にするシステムも今年度きちんと検討していくます。

司会 フォーラムでの議論である程度意見が出揃つたら、多數決投票のような何らかの結論を出せる仕組みが必要では?

前田 ある意見に対して「賛成」「反対」「不明」といった無記名投票システムは可能ですし、具体的な導入も検討しています。ただ、すべての問題にはつきり白黒付けのもの難しいでしょう。

結論を急がずじっくりと時間をかけて皆で検討することが大事ですね。ですから投票結果=すぐに決定ではなく、あくまでも重要な検討材料として投票結果を用いれば良いかなと。

司会 議論の結果で実際の会の流れを作れるとなれば、もっと多くの会員がフォーラムに参加すると思いますが。

前田 ウェブに対する会員の温度差もまだまだあります。皆が情報ツールとして積極的に利用できる仕組み作りと、さらによりユーチャルの当初の目的である外部への情報発信の強化、この課題に今年は取り組んでいきます。

会議の運営について

司会 役員会や委員会等の進行についてフォーラムで議論されています。緑水会の会議では、報告事項に時間を費やし、審議事項に十分な時間が取れないことがあります。そこでフォーラムでは役員会について次のような具体案が出されました。

*報告事項は事前に会員サイトで確認しておいてもら

う。役員会では質問を受けるのみ。

*審議事項を事前に会員サイトにアップしておく。それをより審議の効率アップ。

*以上の施策により、おおむね1時間で従来の役員会を終了。

*以降は、時間を決めてその時々のトピックをフリートークで熱く語らう。

こういった改善案についていかがお考えでしょうか?

前田 この案は私もおおむね賛成です。今年度少し落ち着いてから、また皆さんの同意が得られればぜひ実行してみましょう。

田島 短い会議時間の中で本当に審議するべきことは、その事業を何のためにやるのかという「コンセプト」の部分ですね。事業のコンセプトがそのときの状況に適しているかどうか、その審議が最も重要なべきです。

前田 予算や担当割り等の細かい段取りは、各委員会でしっかり検討されているわけだから多少省略しても問題ないでしよう。

田島 報告事項もすべて省略するのではなく、事業を実施してこんな成果を残せた、どんな反省点があったか、次年度にきちんと継承できるものを報告していただきたい。そのためには会員サイトの活用が不可欠ではないですか?

前田 その通りです。フォーラムで各委員会の審議を補足し、議案書を提示し、「ログ」で結果を報告する。そこまでの段取りができるれば理想的な会議が運営できますね。

田島 昨年は会員サイトも稼動したばかりで間に合いませんでしたが、今年はぜひ会員サイトを活用した会議に変えていきたいですね。

外部への出向について

司会 田島代表が会員サイトに毎回載せている出向報告の数

を見ても、とくに執行部以上の役員は外部への出向件

数がちよつと多すぎるようと思われますが?

田島 あの報告の目的は、もちろん出向先での情報を皆に伝え

る以外に、代理出向が可能かどうかを整理するという意味もあります。

前田 必ずしも代表や委員長ではなく、出向先においては、

昨年の自転車フェスタのような適材適所の方が出向した成功例もあるわけです。

田島 評議員系の出向は議決権の関係上どうしても代表に

限定されますが、代理が許されるものは出向先を盛り上げるために、意欲ある会員にどんどん参加して欲しいですね。

前田 ただし中には本来の緑水会の活動以上の負担になつて

いる出向もあるので、そういう点は見直さなくてはなりません。

田島 出向件数を単に減らすことは簡単ですが、我々緑水会が外部へ出向する最大の意義は相手先との人脈作りや、見識を深める」とにあるわけです。

前田 長い歴史の中で先輩方が築いてきた外部との人脈をきちんと整理し、また次の世代に引継いでいく、それが最も大事なことです。

田島 創立31年目を迎えた昨年度は、「熱き語らいの場」という一つのテーマを掲げました。

21年度の抱負

前田 私たちを取り巻く多くの様々な課題へ、どのように立ち向かっていくかを今一度認識しなければなりません。

それは、ただ事業をこなすだけではなく、緑水会を今後も存続させるためにはどうしたら良いのか、ということを各委員会の中でも見つめ直すことが必要です。

企業で言えば、業種は変えずとも業態をえていく、つまり緑水会という在り方は変えずとも、その中の仕組みや手法を変えていく、ということでしょう。

そういうた気持ちを込めて、21年度に私が掲げるテーマは「変革と挑戦」です。

その真意を委員長や室長の方から、さらに委員会メンバーの皆さんへと伝え広げていただきたいと願っています。昨年度田島代表が1つのテーマ、「熱き語らいの場」を1年間言い通したように、私もこの「変革と挑戦」を言い通していくます。皆さんと一緒にこの緑水会をさらに良い方向へと進めていきましょう!

田島 20年度、前田21年度両代表幹事、長時間の対談本当におつかれさまでした。実際の対談では、この記事以外にも、全国会長研修会議誘致、食事会・二次会の頻度、前橋まつり等々、多くの課題について両代表の「熱き語らい」が約3時間にわたり交わされました。スペースの都合上本誌には掲載できませんでしたが、全てが緑水会の今後を考えるために重要な手掛けとなるべき内容ですので、あらためてウェブサイトなどで皆さんにご覧いただく予定です。もう1つ期待!



緑水会を今後も存続させるためにはどうしたら良いのか、ということを各委員会の中でも見つめ直すことが必要です。

前田 修

とても短い言葉ですが、25周年から始まつた山莊計画の集大成として、会員の皆さんに1年間絶えず呼び掛けきました。

今さら言うまでもなく、大変厳しい時代になってしましましたが、その中で緑水会はどうするべきか、ここでもう一回原点に立ち返り、皆でとにかく熱く色々な話をしようよ、という気持ちは会全体に広がったと感じています。

経済的にも厳しかったですが、前橋商工会議所自体もまた生き残りをかけて、新しい組織体制、そして曾我会頭の新しいリーダーシップのもと大きく変わり、それによって当然緑水会を取り巻く環境も変化し、まさに激動の1年であったと総括できます。

それに対し、会員の皆さんのが本当に熱く語らい、一生懸命頑張つてくれたことを20年度の代表幹事として誇りに思っています。





年表：20年度活動

HISTORY 2008 - 2009

4

緑水会の主な行事

日付	イベント	主な内容
9月 28日	群馬ダイヤモンドペガサス試合観戦	
10月 15日	ファミリー親睦例会(ます釣り大会)	
10月 20日	講師例会	テーマ「野球(独立リーグ)を通して 地域おこし」 講師：群馬ダイヤモンドペガサス(株)群馬スポーツ
10月 29日	第2回経営勉強会	テーマ「会計・資金繰り・税務上の利益の話・自己成長」 講師：第1回に同じ
11月 13日	第2回七夕まつりクリーン運動	
11月 15日	祭り視察研究会 山形花笠祭り・仙台	
11月 19日	第53回前橋花火大会	
12月 4日	新年度4月例会・懇談会	
12月 6日	第17回ローズ・クイーンコンテスト	
12月 17日	会員親睦会(カートレース大会)	
1月 25日	第4回ふれあいフェスティバル	
2月 20日	第17回ローズ・クイーンコンテスト	
3月 4日	新年度4月例会・懇談会	
3月 24日	第63回定期総会	
3月 29日	第1回経営勉強会	テーマ「決算書と会社法について」 講師：株 加藤会計センター 税理士三輪洋次 大澤司法書士事務所 代表 大澤栄一郎

4日 新年度4月例会・懇談会
6日 第17回ローズ・クイーンコンテスト一次審査会
20日 第7回ローズ・クイーンコンテスト最終審査会

前橋市の主な行事

第25回全国都市緑化フェア

第84回日本学生選手権水泳競技大会飛込競技
第68回日本消火器がん検診学会関東甲信越地区芸術集会
第25回P-Xエンジニアリング
国際文化交流サッカーワールド大会U-12 前橋市長杯

第32回全国高等学校総合文化祭
平成20年度第36回関東中学校卓球大会
第51回 全国医学生セミナー㏌ぐんま
第63回 関東都県算数・数学教育研究会群馬(前橋)大会
第8回 大学生・高校生のための スポーツ医学セミナー

平成20年度第27回関東小学生ソフトビース選手権大会
第39回関東ろう婦人研修集会
第48回全日本実業団男子ソフトボール選手権大会
音楽教育の会 第53回全国大会
映画「クライマーズハイ」公開
※前橋を舞台に撮影されました

第59回全国公立幼稚園長会総会研究大会
兼 第41回関東申信越国公立幼稚園長研究協議会
第3回食育推進全国大会

平成20年度関東高等学校女子バスケットボール大会

平成20年度関東高等学校なぎなた競技大会

第33回日本超音波検査学会

平成20年度関東甲信越静岡地区公立文化施設協議会総会

第29回日本消化器病学会関東支部例会
第17回ばら制定都市会議
平成20年度第59回関東ソフトテニス選手権大会
第29回済生会関東ソフトテニス親善ソフトボール大会
平成20年度第58回関東高等学校卓球大会
第31回前橋莫子まつり

TOPICS

- 4月・後期高齢者医療制度スタート、保険料の年金天引きなどに批判
- 5月・たばこ屋さん、店じまい続出 「タスボ」の負担ずしり
- 6月・岩手・宮城で震度6強、13人死亡
- 6月・東京・秋葉原で無差別7人殺害

- 7月・北海道洞爺湖サミット開幕 初日のテーマは「開発・アフリカ」
- 8月・北京五輪開催、日本は「金」9個、競泳・北島選手ら連覇
- 9月・福田首相が突然の退陣表明、後継は麻生首相
- 9月・リーマン破綻、負債63兆円、渦谷最大額

- 10月・ノーベル物理学賞に南部、小林、益川氏、化学賞には下村氏
- 10月・女子マラソンの高橋尚子が現役引退
- 10月・東京株、バブル後最安値を記録
- 11月・元厚生次官宅襲撃事件で3人死傷、出頭の無職男を逮捕
- 11月・オバマ氏当選、米史上初のアフリカ系大統領誕生へ



- TV…NHK大河ドラマ「篤姫」→「天地人」、フジテレビ月9「CHANGE」、日本テレビ開局55年記念番組「行列のできる法律相談所」プレゼント100枚の絵でカンボジアに学校を
- 言葉…「グ～！」エド・はるみ、「アラフォー」天海祐希、「上野の413球」上野由岐子、「居酒屋タクシー」、「埋蔵金」、「ケリラ豪雨」
- ビジネス本…「情報は1冊のノートにまとめなさい」 Nanaブックス 奥野 宣之 著、「さあ、才能に目覚めよう」 マーカス・バッキンガム 著,ドナルド・O.クリフトン 著,田口 俊樹 訳、「『残業ゼロ』の仕事力」吉越 浩一郎 著
- 日経平均株価…7,994.05(1月30日終値)
- 円相場(ドル)…89.76-89.80円(1月31日)



Takayuki Ebinuma



Yutaka Hayashi



Daisuke Maruta

平成20年度委員長事業報告



会員委員会

委員長 海老沼 孝之

20年度の会員委員会は「熱き語らいの場」をテーマに、①会員親睦事業、②会員拡大啓蒙、③新入会員の審議と指導育成、この三つの基本に沿った活動を展開しました。

5月カート大会では、時速70km以上の本格カートマシンに、「楽しい～！」の歓声が沸き、女性会員の迫力あるバトルも魅せてくれました。

9月ファミリー親睦例会では、マス釣り、バーベキュー、流しそうめんも行なって子供たちにも大好評、楽しく賑やかなイベントとなりました。

12月クリスマス会は、委員会メンバーが時間をかけてアイデアを出し合い全力で設営に努めました。1700個ものカラフルな風船で会場を飾り、まさに「ファンタジー」というテーマにぴったりの盛宴となりました。

2月新入会員研修では、執行部の皆さんから緑水会活動の基本について教えていただき、また普段なかなか経験できないお座敷に関する礼儀やマナーを学ぶ機会を得ました。どの事業も会員委員会のメンバーが打合せから実施まで大活躍した一年になりました。

委員会メンバーの皆さん及び緑水会の諸先輩方のご協力に本当に感謝しています。

広報委員会

委員長 林 豊

昨年の今頃、田島新代表のもと新たな試みの新体制誕生に、我ながら期待と不安が入り混じり気持ちが高揚していたのを思い出します。20年度は長いようで短い、本当に過酷な1年でした。しかし委員会メンバーに恵まれ、今日を迎えた事が今になれば掛替えのない思い出、そして経験になりました。広報委員会の皆さん、本当に有難うございました。

さて、広報委員会新設1期目を預り、結果として何を残せたか…。特に「これが結果だ！」と言うものは残せなかったかもしれません。しかし大いなる布石は打てたと思っております。その布石をもとに21年度は20年度 広報委員会副委員長の塩谷さんが委員長として引き継いでくれる事になりました。本当に嬉しく思っております。(塩谷さん、宜しくね!) 最後に、田島代表本当に疲れ様でした。20年度に出来なかった事は前田新代表が引き継いでくれる事と思います。田島代表の下、委員長を経験できました事を感謝申し上げます。

総務室

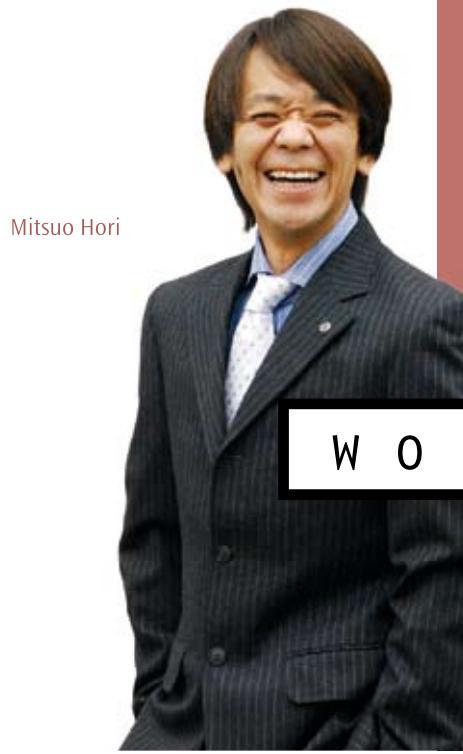
室長 丸田 大介

平成20年度田島代表幹事がテーマとして掲げた『熱き語らいの場』を達成するための施策として組織変更を行い、新たに創られた「総務室」の室長として一年間、自分なりに頑張ってきました。当初は会長研修会の誘致や定年延長等、青年部の「中長期的な課題の検討」を行うはずでした。が、想定外の会議所内の組織変更により事務局体制が従来と大きく変わり、HP内のフォーラムで意見を聞くだけとなってしまい、深く反省をしています。また、水引きの補修では多くの会員のご協力のおかげで、立派な水引きが完成しました。予算も時間も限られたなかで、堀委員長を筆頭に貴重な時間をかけていただいた皆さんに改めて感謝いたします。

最後に「何でこんなに多く主管事業があるの」と言いつつも、頑張っていただいた、小野・池下・高野副室長には本当に感謝の思いでいっぱいです。また、田島代表幹事をはじめとする会員の皆さんにもお礼申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



Takashi Sato



Mitsuo Hori



Katsuya Morimoto

W O R K S R E P O R T

事業委員会

委員長 佐藤 敬

1年間お世話になりました。事業委員会の委員長を受けさせていただいてから早いもので1年が経ち、振り返ればローズクイーン選考の時はギリギリまで応募者が集まらないという冷や冷やした面もありましたが、皆さんのご協力のおかげで初めての試みだった屋外での最終選考会を無事に行うことができました。

祭り視察では他単会(山形YEG)との親交を深めることができ、冬の観光イベントでは赤城凧の会さんや玉村凧の会さんなど、普段顔を合わせることのない団体の方々とも知合うことができました。

委員会を急遽欠席するなどのことがあったにも関わらず、全てのイベントが無事に行えたのも、本部役員の皆さんや委員の方々に助けていただいたからだと思っております。本当に有難う御座いました。

自分にとって、かなりプラスになった一年になり、今後に生かしたいと思います。

地域委員会

委員長 堀 三男

20年度地域委員会は活力のある前橋の街づくりを念頭に一年間取組んでまいりました。緑化フェア開催中の5月25日には、前橋中心商店街で「TONTONのまち前橋」のアピールとして上州麦豚や上州麦豚うどんの試食販売を行いました。

7月13日には、七タクリーン運動として会員の子供たちと一緒に前橋中心商店街の清掃活動を行いました。11月1日には、地域貢献ならびに子供の育成事業として、緑水会＆群馬ダイアモンドペガサス少年野球教室を行いました。さらに年間を通じて、街づくりの一貫である「上州麦豚うどん」プロジェクトを推進し、この事業の集大成として、2月21日～22日にやきそばで有名な富士宮市で街づくりの成功事例のお話しを伺うとともに、水と緑にあふれた21世紀の「環境創造工場」であるアサヒビール神奈川工場の視察を行いました。これは卒業生旅行を兼ねた事業でしたが、活力ある街づくりの参考となりました。

委員長を務められたのも皆さんのご尽力のお蔭です。また自分の中で最も成長できた年になったと思います。一年間有り難う御座いました。

経営委員会

委員長 森本 克哉

20年度の春、初めて委員長という大役を任されてから早いもので任期が終わろうとしています。本年度の経営委員会は、経営者としての資質向上を目的として研修会および講演会を実施致しました。例会として8月には講師をお呼びして講演会を行い、11月には商工会議所会頭にお願いして商工会議所についてあらためて説明していただきました。どちらの例会も、とても貴重なお話で参考になりました。研修会としては、企業経営に関する知識を習得する目的で、当委員会のメンバーに協力をいただき、会社の財務関係のことから事業承継の事まで3回コースで行わせていただきました。初心に返りあらためて経営の事に関して勉強する事は、会員皆様の資質向上に役に立ったのではないかと思います。委員長としてこの1年間、多くのことを勉強させていただきました。あらためて私に委員長という役をあたえてくださった会員の皆さんに感謝申し上げますとともに、私が今後绿水会に対し何をなしうるかを常に問いかがら委員長の任期を終了したいと思います。皆様のご協力、ご支援ありがとうございました。



前列左から：町田憲昭、田島宏明、前田修、伴 卓、池下敦洋
後列左から：塙越正浩、倉林健、阿部知章、阿久津和彦、小野靖浩、塙谷勝利、新井義宗、中田和郎

平成21年度前橋商工会議所青年部 緑水会

New Maebashi Young Entrepreneurs Group Structure

副代表幹事 伴 卓
今年も言わせてもらいまっせー。

副代表幹事 町田 憲昭
素直に、謙虚に、前向きに、頑張ります。

副代表幹事 池下 敦洋
自分らしく精一杯がんばります。

監事 阿久津 和彦
最後の一年間がんばります！

監事 小野 靖浩
会社の大改革を果たし必ず復活します！

総務室 室長 阿部 知章
一年間代表を支えてがんばります！

広報委員会 委員長 塙谷 勝利
みんなで楽しくやりましょうね！

会員委員会 委員長 塙越 正浩
日々勉強！皆様ご指導よろしくお願ひします。

経営委員会 委員長 新井 義宗
精神統一で逆境を乗り切りましょう！

地域委員会 委員長 倉林 健
自分流マイペースで頑張ります！

事業委員会 委員長 中田 和郎
一年間ご協力よろしくお願いします！

年度別名簿

S39年生

阿久津和彦 小野 靖浩
北爪 英樹 塩谷 勝利
竹村 修 田島 宏明
伴 卓 松下 俊宏
三輪 田聰

S40年生

阿久 津洋 大島 昭夫
角張 智之 木暮 一裕
田村 幸雄 中田 和郎
堀 三男 前田 修
町田 信明 三輪 洋之

S41年生

井坂 孝次 稲村 啓
井上 哲孝 海老沼孝之
大崎 政俊 重田 好文
中村 丙午 根岸 雅一
星野 洋一 八木原重雄

S42年生

新井 義宗 大澤栄一郎
富澤 吾一 森本 克哉

S43年生

岸辺 平 長坂 雅紀
中津山俊輔 林 豊
福田 聰樹 星野 大輔
丸田 大介 吉田 将輝

S44年生

阿部 知章 池下 敦洋
池田 広之 井上莊志郎
鹿目 裕 木村 道俊
佐川 哲一 佐藤 敬
塚越 正浩 寺澤 達也

S45年生

植木 威行 久保田雅幸
後藤 寛之 寺島 崇雄
永井 鉄平 町田 憲昭
宮下 博和 川本 憲和

S46年生

井上 直也 岩井 俊次
曾根 利光 本多 秀彰
宮下 学

S47年生

内山 郁 岡村 好樹
神澤 敏夫 倉林 健
塙原 健 高野 和之
田仲 恒夫 寺澤 勇
中嶋 薫

S48年生

五十嵐勝治 亀井 太一
久保 誠 関 直人
立見 公一 鳥越 淳司
野村 雅弘 山口 拓也

S49年生

鷹橋 英治 萩原 勝
萩原 美和 羽生田泰文
平形 敦史 柳井 誠一

S50年生

池津 崇延 遠藤 宗司
藤咲 英樹 牧口 幸弘
町田 晶也

S51年生

天田 洋平 宇野 友洋
梅澤 史明 高橋 功二
渡邊 辰吾

S52年生

小林 祐介 吉井 梢

S54年生

小池 常雄 田子 宏美

S55年生

石崎 武史

S56年生

長島 肅 若井 良昭

S57年生

市川 麻紀

S58年生

門倉 稔

S59年生

高木 則之

平成21年度前橋商工会議所青年部組織図

organization diagram





高木訓之 株式会社JTB

出張や家族旅行など、『旅』の事なら
何でもお気軽にご相談下さい!



羽生田泰文 有限会社SMACK

あらゆる建物の日常清掃から定期清掃
まで、総合ビルメンテナンス業です。



岸部 平 株式会社岸部梶包商事

鉄製パレット、小部品等その他雑貨類
どこよりも安価で提供します。



柳井誠一 株式会社ヤナイストア
お客様に喜んでお買物をしていただける
お店を目指しています。

New

新入会員紹介

平成20年度入会された会員を紹介します。



市川麻紀 市川建設株式会社
住まい作りのパワーパートナー。
建築・設備工事、お任せ下さい。



寺沢 勇 株式会社テラサワ

製作金物、既製金物、エクステリアの事は
何でもご相談下さい。



石崎武史 げんき堂 おおわたり整骨院

皆様の健康を全国160店舗でサポート。



中嶋 薫 中嶋塗装工事株式会社

確かな塗装技術により明るい住まいと、
美しい環境を創ります。



大崎政俊 群馬銀行本店営業部

あなたの夢、応援します。群馬銀行。



富澤吾一 株式会社トミザワ

時代のニーズに応える 建築金物の
トミザワ。



重田好文 東和銀行本店営業部

ふれあいパンク・東和銀行。



卒業会員よりひとこと



石井繁紀

15年前30才で入会したときは独身で、会社では夜遅くまで図面を描き、休みも有って無いような設計主任でした。34才に結婚した時には多くの緑水会の方々に来て頂き、当時の田中代表に祝辞も頂き胴上げしてもらった日から早10年が経ちます。38才、当時の小曾根代表予定者から委員長のご指名を頂き、私に?と悩んでいた時、クリーン前橋運動へ向かう道の自動販売機の前でバッタリと小曾根次年度と遭遇!これも運命と腹を決めたのが7年前。その後、当会創立30周年という節目の準備年・実施年の2年間の代表幹事を仰せつかり、無事45才直前代表幹事で卒業を迎えることになりました。この15年間で知り合った多くの諸先輩と会員の皆様方、関係した各種諸団体の皆様方には、経営者・地域人・個人として、貴重な経験と多くの勉強をさせて頂きました。あらためまして皆様方に深く感謝と御礼を申し上げます。今後の緑水会が、時代に適応して更なる発展と進化を遂げることを心より御祈念申し上げ、卒業の言葉とさせて頂きます。卒業後もどうぞよろしくお願ひ致します。



一守和子

最初に緑水会の皆様、大変お世話になりました。残念な事に私は卒業します。

振り返れば母が亡くなってしまい天涯孤独になり、落ち込んでいた私が緑水会に入会して13年、初めの頃は女性会員と言う事もあって、戸惑いや不安がありました。緑水の皆様が大変良い方ばかりだったので、あっと言う間に溶け込んでいました。今思えばわがままで生意気な女性が入会したので、皆さん触らぬ神に祟りなし状態だったのかも知れません。あの時は、そんな私の悪い面が出て、泣いたり、吠えたり、謝ったりで、結構刺激的な日々を送らせていただきました。でも、最後には笑い話になる位、大変良い思い出です。私にとって緑水は家族の様な、私は独りではないのだと感じさせてくれる素晴らしい会だと思います。素敵なおOBや、仲間の大きな包容力の中で女性としてプライドも育てる事が出来ました。緑水以外のたくさんの人との出会いもありました。本当に幸せだと思います。これからも、緑水会のOGとして緑水での経験や考えを胸に素敵な人生を歩んで行きたいと思います。最後に皆様とめぐり逢えた喜び、そしてこれからも私の家族の様な皆さんと一緒に付き合ってもらいますので、覚悟して下さいね。本当に緑水会ありがとうございます。



岡 重光

平成18年4月に入会し三年間在籍させて頂きました、多くの方々と知り合え、楽しく充実した時間をすごす事ができ、心より感謝をお礼を申し上げます。

緑水会の活動を通じて多くの経験をさせて頂きました。前橋祭り・花火大会・凧揚げ大会の運営や警備を始め、会員の皆様や地域の方々とのふれあえる事業活動や、昨年の創立30周年の記念事業として始まった「上州麦豚うどん」を前橋の名物としてアピールする緑化フェアや七夕祭りでのPR活動などが思い出に残っています。また企画運営を成功させるためにアイデアを出しパワフルに行動する皆様に接している時は、私にとって活力を与えてもらえる時間でもありました、ありがとうございました。

最後に緑水会員皆様と会議所事務局の方々の益々のご健勝とご繁栄をお祈りもしあげます。大変お世話になりました。



関 和行



川尻 賢

Good Design Gunma



グッドデザインぐんま パッケージ部門受賞について



この度、群馬の銘柄豚である「上州麦豚」をふんだんに使用した「幸福(しあわせ)を呼ぶ上州麦豚うどん」の開発・販売プロジェクトの集大成として、群馬県主催の「平成20年度グッドデザインぐんま」に出展いたしました。今回は第16回目にあたり商品部門、クラフト部門、パッケージ部門の3部門合計111点(69社)もの応募があり、審査結果79点(56社)が選定されました。その中でも優れた商品に対して、努力賞1点・奨励賞3点・優秀賞3点が授与されました。当時プロジェクト部長の前田(現:代表幹事)を筆頭に「具材やパッケージ」などの全てに妥協をしないメンバーが最後の最後までこだわった外箱が、パッケージ部門でみごと優秀賞(部門1位)に輝きました。平成21年1月30日にイオンモール高崎にて授賞式が行われ、式典後4日間と短い期間ではありましたがモール内に展示され「前橋市の新しいお土産品」として県内外の多くの方にご覧いただき、素晴らしいペーパーアートが出来たと思います。

現在「上州麦豚うどん」は完売状態となっておりますが、今回の受賞に満足することなく、今後も前橋市の産業・地域振興のため更なる次のステージへ向けて動き出します。これからも緑水会の活躍(展開)にご期待ください。

Renewal

水引リニューアルについて

創立15周年に新造されて以来、前橋まつりで大活躍してきた水引が昨年リニューアルされました。

最初は再度新造する計画でしたが、予想以上の予算がかかるため、現存の水引を補修する方向でプロジェクトが始まりました。

しかし捻出できる予算がわずか15万円!常識で考えてこれではとても間に合うわけがない!と危惧されましたが、有志を募ったところ緑水会全体から男気溢れるメンバーが集まりました。

既存の水引を解体して各部品を総点検、フレームの調整・塗装から荷台、電飾、看板等の交換と、すべて有志メンバー自身の手で作業が行なわれました。さらに前橋まつりまでの日数もなく、休日返上での突貫作業となりました。

こうして予算も時間も無い無い尽くしの中、各分野の専門家である緑水会有志の、まさに「心意気」によってついに新生水引が完成!

有志メンバーへの感謝と賞賛の中、昨年の前橋まつりでのデビューを果たし、異業種プロ集団である緑水会の実力を満天下に示すことができました。

今後も末永く緑水会の「移動基地」として大切に愛用ていきましょう!





ROSE QUEEN

「1年を振り返って」



坐間妙子

ローズクイーンは、高校生の頃からの私の憧れでした。様々なイベントに参加させていただき、生まれ育った前橋に微力ながら恩返しができたことをとても嬉しく思います。ローズの仕事はどれも本当に楽しくてやり甲斐があり、「今がとても楽しい。今を大事にしよう。」と思える毎日で、とても充実した一年をすごすことができました。

私の未熟さゆえに、ご迷惑をおかけしたこと多々ありました。社会人としての責任を学ぶことができ、人間として大きく成長することができたと思います。この1年で手に入れたものを糧に、向上心をエンジンにしながら、次のステップへ進んでいきたいです。

最後に、いつも近くで温かく見守ってくださった佐藤委員長、町田副代表をはじめ、多くの機会を与えてくださった関係者の方々に心よりお礼申し上げます。本当に、ありがとうございました。

石塚美智子

4月、春の芽吹きとともに憧れのローズクイーンとして喜びと期待のなかスタートし、早いようでもう任期を経てしまいました。前橋の観光特使として活動させていただく中で、笑いあり、涙あり、感動ありの、盛りだくさんな日々でした。マナー・作法・歩き方の研修から始まり、ドキドキのテレビ収録、感動の花火大会、初めてのはっぴとねじり鉢巻き姿で担いだ御神輿。皆で一つのことを力合わせて成し遂げることに、感動と温かさを感じました。ローズクイーンに選ばれてこそ体験できる、数々の貴重な体験…この1年間は私の人生の中でも1番と言つていい程、濃厚な1年がありました。前橋商工会議所青年部の皆様方にはとても温かくご指導いただき、ローズクイーンの仲間とその折々で励ましあい、笑いあい、一緒に楽しい時間を過ごせたことを心から感謝いたしております。ありがとうございました。

加藤美季

薔薇はずっと私の憧れでした。上品で気高く、刺は芯の強さを表しているようで。だから「ローズクイーン」の名を背負った以上、背伸びをしてでも素敵な女性であらねばと常に思っていました。けれど不思議な事に、制服に身を包み人と接していると、そう力まずとも自然に笑みがこぼれ、気持ちにゆとりが生まれてくるのです。私は気が付きました。このお仕事は、周りの人たちの支えあってこそなのだ、と。おかげさまで、貴重な経験を沢山させていただきました。素晴らしい出会いにも恵まれました。前橋市がもっと好きになりました。自分史に華やかな1ページが加わりました。

だから、やはり最後は感謝の気持ちを述べずにはいられません。あの日あの場所で、ローズに選ばれた奇跡に。サポートしてくださった青年部の皆様に。そして、応援し続けてくれた家族に。言い足りないほどの“ありがとう”で、胸がいっぱいです!

一年間、本当にお世話になりました。



会員委員会編集メンバー
久保 誠 柳井誠一 市川麻紀 若井良昭

初年度広報委員会 委員長 林 豊

編集メンバー
福田聰樹 塩谷勝利 寺島崇雄
三輪田聰 角張智之 八木原重雄
星野洋一 神澤敏夫 天田洋平
宇野友洋 高橋功一 渡邊辰吾

編集後記
From Editor

昨年度、総務広報委員会内に「水と緑製作小委員会」を設け水と緑を刷新しました。そして今年度広報委員会が独立し改めて広報委員会が担当事、そして広報たる役割等、多岐に渡り、熱き語らいを行って参りました。

そして今回「50」という節目の号を迎え、広報誌とし更には緑水会の記録誌として新たな個性を持つた記念すべき第50号が完成しました。

歴史と伝統を育む緑水会。良き伝統を次世代に継承すべく「水と緑」が緑水歴史の一つの礎になります。

れば、この上ない喜びであります。まずは昼夜を問わざご協力頂きました。

メンバーに心から感謝と御礼申し上げます。

平成21年3月31日



110人の若き
企業者ネットワーク

join us!

さまざまな人との出会いを通して人の輪を拡げ、
地域イベントを通して前橋の活性化を目指そう！

会員募集のご案内



Q&A

Q1. 緑水会って何をしているの？

A. 地元の青年経済人が資質を研鑽する会です。
会員相互の交流を通じて、企業の発展と豊かな
郷土づくりに貢献しています。

Q2. 集まりは必ず出ないとダメなの？

A. 基本的には毎月2回程度、仕事優先で欠けは自由ですが、多くのメンバーが自分の時間を使
り積極的に参加しています。

Q3. 上下関係はどうなの～？

A. 大人の会として常識的な礼節はありますが、みんな和気藹々と交流しています。

Q4. 40歳過ぎてからの入会は大丈夫ですか？

A. OKです。45歳で卒業ですが、その後も「緑詩会」
というOB会で交流しています。

Q5. 入会方法は？

A. このページ下部のウェブへアクセス！もしくは事務
局へお電話を。お気軽に何でもお尋ねください！

Q6. 入会のメリットは？

A. メンバー各自がさまざまなメリットを見出しています
が、共通するのは経済人として視野が広がること
と、100人を超える異業種の仲間との人脈は、他
では得られない財産となるでしょう。

入会案内

当会では、前橋市在住もしくは、前橋市内にて事業を営んでおられる方を対象に広くメンバーを募集しております。

----- 会員条件 -----

- 前橋市在住もしくは、前橋市に法人がある事業者もしくは、その社員。
- 満20才以上満45才未満の方。



message

会員委員長 塚越正浩

皆様こんにちは。会員委員会は新人の方が所属する
委員会です。主に親睦交流に関する行事を受け持
ち、同時に緑水会の基礎を学んでいただきます。仕
事やプライベートで一人で考えていても行き詰ったり
悩んだりしたとき…その答えが緑水会にあるかも知れ
ません。なぜなら、多くの仲間と出会い、語り、経験で
できるステージだからです。ご入会お待ちしております。

<http://www.maebashi-yeg.com/> TEL. 027-234-5111